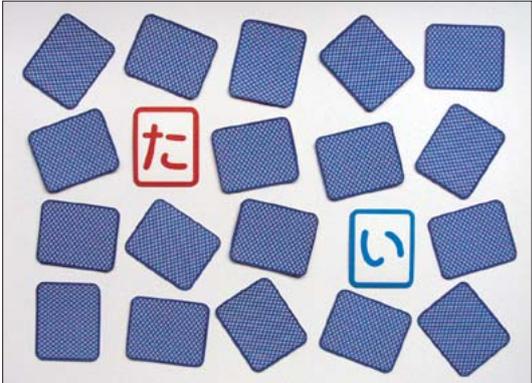
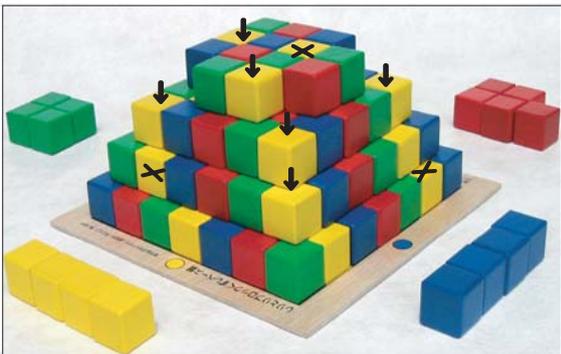
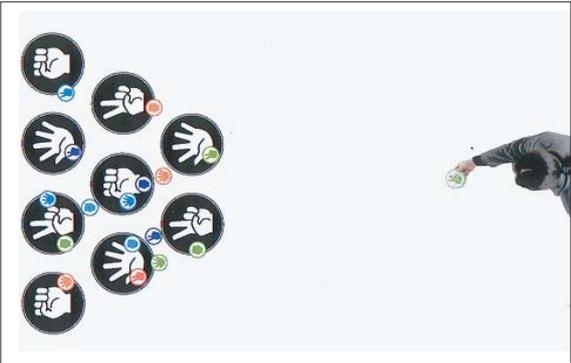
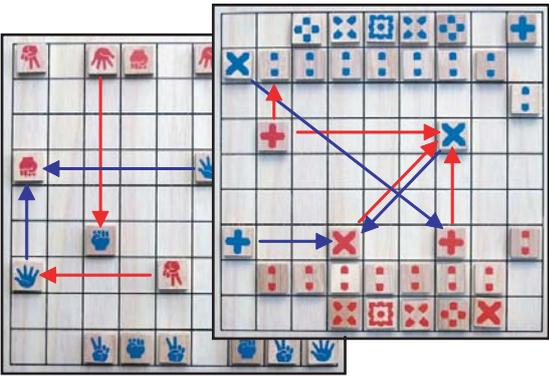


## 脳活性化ゲームの遊び方とねらい一覧

岩月脳活性化デザイン研究所

ゲ ー ム 名	遊 び 方 ・ 脳 活 性 化 上 の ね ら い
<p><b>a 唱歌カルタ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50年以上前の唱歌の情景を描いた40枚のカルタで、童謡から歌曲までを幅広く選曲しています。</li> <li>・ 読み札の代わりにCDで曲のメロディを流し、これを聞き、歌詞を思い出し、その歌の情景と、歌いだしの頭文字を描いてあるカルタを見つけ出して取ります。</li> <li>・ カルタを取ったら皆で楽しく歌います。(一番のみ収録)</li> <li>・ 曲を聞き、情景を思い浮かべ、曲と絵に感動することにより右脳を刺激します。</li> <li>・ どこにどんな曲のカルタがあるか見通し、素早く反応し取ることで、右脳、前頭葉を刺激します。</li> <li>・ 絵柄と歌いだし頭文字の両方に注意分配させます。</li> <li>・ 皆で楽しく歌うことにより、右脳を刺激します。</li> </ul>
<p><b>b. あいうえおカード</b></p> 	<p>「あいうえお」50音のカードで、いろいろ遊べます。</p> <p><b>A. 言葉神経衰弱 (左図)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裏返して、全てのカードを並べておきカードを2枚、表向きにして、言葉になっていれば取れる遊びです。</li> <li>・ 前に開かれたカードの文字と位置を記憶すること。開いた2枚のカードが言葉になっているか否かをテキパキ判断することで前頭葉を刺激します。</li> </ul> <p><b>B. 「なにぬねの」並べ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トランプの7並べの7の代わりに「なにぬねの」を並べておき、その左右のカードを並べていく遊びです。</li> </ul> <p><b>C. 文字つなぎ遊び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉になるカードを上下左右につなげていく遊びです。</li> </ul>
<p><b>c. 十二支ピンゴ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十二支の絵柄が描いてあるコマとサイコロを使って、4～5人位でやるピンゴ・ゲームです。</li> <li>・ 十二支のコマ各2個を、各自の盤上に表向きで自由に配置しておき、順番にサイコロを振り、出た干支の2つあるコマの中のどちらか1つを、一斉に裏返していき、縦・横・斜め、いずれか1列並べた人から上がりです。</li> <li>・ サイコロは、十二支全てを表示した12面体と、6面体2個に分けて表示したモノの2種類ありますが、2個を使う場合は、振った人がどちらか一方の目を選びます。</li> <li>・ サイコロで出た干支がどこにあるか見分け、2つのコマのどちらを選ぶか考え、右脳と前頭葉を刺激します。</li> <li>・ サイコロ2つの場合は他の人の盤面にも注意分配します。</li> </ul>
<p><b>d. しりとりブロックくずし</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4色のブロックをピラミッド状に積み上げておき、4人で順番に、しりとり言葉を言いながら、言った語数だけ自分の色のブロックを取っていき、早く取り去ってしまった人から上がりという遊びです。</li> <li>・ 取れるブロックは、上に他の色のブロックが載っていないモノと4方を囲まれていないモノ(左図)です。</li> <li>・ ブロックをテキパキ積上げることで集中力をつけます。</li> <li>・ 前の人やしりとり言葉の最後の文字を記憶しつつ、自分の色を認識し、取れるブロックを見通し数え、その範囲内で、できるだけ長いしりとり言葉を思い出して言うという命題を、同時進行的に行うことにより、左・右脳を使うと共に、注意分配力を高め、前頭葉を刺激します。</li> </ul>

ゲ ー ム 名	遊 び 方 ・ 脳 活 性 化 上 の ね ら い
<p><b>e.じゃんけんペタンコ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グー、チョキ、パーが描かれた、どらやき状のペタンコを、同じくグー、チョキ、パーが描かれた薄い円盤の上に投げ、勝つところに入れば得点、負けるところへ入ってしまうと減点になるという遊びです</li> <li>・ペタンコは4色あり、4チーム対抗戦でやります。</li> <li>・点数は近似的から順次、1、2、3倍とします。</li> <li>・先に投げられたペタンコを弾き飛ばして。的から出した入り入れたりしても結構です。（得点変動します）</li> <li>・輪投げのように、直感的に投げるのではなく、自分の持っているペタンコの絵柄が何であるか、勝てる的はどこにあるか、近辺に投げると負けてしまう的は無いかなど、注意分配し投げることで左・右脳と前頭葉を刺激します。</li> </ul>
<p><b>f.ボール投げ3並べ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1チーム3人以上の2チーム対抗で遊びます。</li> <li>・9枠に分割されたゴールネットを、同じチームの2人が持ち他の人がボールを投げます。（どこかに入るまで）</li> <li>・これを2チームが交代で1つずつ投げ、縦・横・斜め、いずれかに、早く3つ並べた方が勝ちです。</li> <li>・3つ並べる方法を考えること、相手チームが、どのように3つ並べようとしているか読み、止めるたりすることにより作戦・洞察力を高め、前頭葉を刺激します。</li> <li>・ネットを持つ人と、ボールを投げる人の3人の協力を必要とするので、協調性を強化出来ます。</li> <li>・ボールが入った時、入らなかった時の感覚を掴み、投げ方、受け方を工夫することで、前頭葉を刺激します。</li> </ul>
<p><b>g.らくらく / じゃんけん将棋</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コマの表裏を使い分けることで2つの遊びが出来ます。</li> <li><b>A.らくらく将棋</b>は、駒の動き方をパターンで表示し、将棋をやったことのない人でも、動きがすぐに解ります。</li> <li>・取った相手のコマを使ったり、成り金はできません。</li> <li>・点矢印で表示したものは、その方向へ1マス進め、線矢印で表示したものは幾マスでも進むことができます。</li> <li><b>B.じゃんけん将棋</b>は、挟み将棋と同じ動き（上下、左右には幾らでも進めるが斜めには進めない）をします。</li> <li>・じゃんけん（グー、チョキ、パー）で相手に勝てるコマを相手が負けるコマの上に重ねれば取れます。</li> <li>・自分と相手のコマの配置状況を認識し、相手の動きを読み作戦を立てることで、右脳と前頭葉を刺激します。</li> </ul>

遊び方詳細，およびゲームツールの作り方については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.hm3.aitai.ne.jp/~kazu-iwa/>

- ・検索キーワード 「脳活性化ゲーム」「岩月脳活性化デザイン研究所」
- 「各ゲームの名前」を打ち入れても検索できます。

連絡先 岩月脳活性化デザイン研究所 岩月和人

〒473-0904 愛知県豊田市中町中郷15-2

TEL&FAX 0565 52 7294

Eメール [kazu-iwa@hm3.aitai.ne.jp](mailto:kazu-iwa@hm3.aitai.ne.jp)

以上